

水産資源委託調査

植木 龍夫・中川 賢三・涌坪 敏明・大川 光則・黄金崎栄一

発表誌名

昭和62年度沿岸重要資源委託調査結果報告書

抄 録

1. 漁 況

東津軽郡平館村における昭和62年1～12月の対象魚種別の漁獲状況は、以下のとおりである。

- (1) マイワシ : 漁獲量は1,282トン。昨年並で昭和56年以降では少ないものであった。
- (2) カタクチイワシ : 漁獲量は22トン。昭和60年以降は減少傾向である。
- (3) ウルメイワシ : 漁獲統計が整備されておらず、不明である。
- (4) マサバ : 漁獲量は40トン。過去7ケ年平均とほぼ同程度であった。
- (5) スルメイカ : 漁獲量は28トン。昨年の2.5倍、一昨年の約1/2であった。
- (6) ヤリイカ : 日本海区水産研究所委託分ではヤリイカを対象魚種とした。日本海側4港の漁獲量は480トンであった。

2. 魚体調査

東津軽郡平館村の小型定置網で漁獲されたマイワシ・カタクチイワシ・ウルメイワシ・マサバと日本海で漁獲されたヤリイカを対象に調査した。

- (1) マイワシは、4月22日から翌年の1月7日までに精密調査を12回(240尾)とパンチング調査を11回(912尾)行った。
体長は11.5～20.9cm、体重は10～104gの範囲であった。
肥満度は0.6～15.0の範囲であった。
- (2) カタクチイワシは、4月22日から翌年の1月7日までに精密調査を9回(180尾)とパンチング調査を6回(577尾)行った。
体長は7.5～14.9cm、体重は4.0～31.9gの範囲であった。
肥満度は7.0～13.0の範囲であった。
- (3) ウルメイワシは、11月12日から翌年の1月7日までに精密調査を4回(80尾)とパンチング調査を2回(147尾)行った。
体長は7.0～15.4cm、体重は4.0～39.9gの範囲であった。
肥満度は9.0～16.5の範囲であった。
- (4) マサバは、11月4日から翌年の1月7日までに精密調査を8回(183尾)とパンチング調査を4回(255尾)行った。
体長は13.0～27.4cm、体重は20～279gの範囲であった。
肥満度は8.5～17.0の範囲であった。
- (5) マアジは、11月30日のみ精密測定20尾を行った。
体長は7.0～11.9cm、体重は4～25.9gの範囲であった。
肥満度は12.0～14.5の範囲であった。
- (6) ヤリイカは、3月18日から翌年の2月18日までに精密調査13回(679尾)行った。
外套長は10.0～41.0cm、体重は10～440gの範囲であった。
肥満度は5～33の範囲であった。